

ふらっぶ通信

夏過ぎて

須山 真行

今年の夏は暑いだけではなかった。様々な出来事があった。オリンピック・天皇の生前退位・高校野球、そして神奈川県障害者施設での事件である。

事件発生から1か月が経った8月末頃から、新聞などでは掘り下げた記事が出始めたが、様々な解説や議論の広がりについて注目していきたい。

改めて、障害のある方々とサービスを提供する支援員（ヘルパー）との日頃の関係を、ふらっぶの一職員の立場で書いてみたい。

言うまでもなく、障害のある方々の日常生活・社会生活・余暇活動等を出来る限り支援していくのが、私たち事業者の活動の目標である。この「出来る限り」の最高点は、利用者と支援者が同時に「今日の一日はよかったね。明日もまた

社会福祉法人

なづな学園

サービスセンター

ふらっぶ

頑張ろうね」と喜びや楽しみを共有するところにあると、私は信じている。

このことを達成していくために、もっと何が欲しいかと尋ねられたら、次のように答えたい。

まず第一に支援員が利用者として、利用者の生活状況や希望などについて心理解しあえるだけの話し合いの時間を持つこと、そして次に、支援員やヘルパー同士が事前に十分な意見交換や技術検討を経ている、支援に取り掛かれることである。

これがなかなか難しい。手前勝手な説明になるが、事業経営の面からみると、支援をなんぼこなしてなんぼの収入となるからだ。例えば、職員の支援の前後に準備時間を倍増しようとする、おそらく赤字収入になるだろう。世の中には、走りながら考えたらどうか、という見方もあるかもしれないが、それは違う。人と人は目を見ながら会話してこそ、コミュニケーションが熟したことになることは



明白なことである。特にこの分野では。

スマホや携帯電話が普及し、いつでもでも意思疎通が成り立つのはその通りではあるが、文明の機器に浴さない人も多数いる。やっぱり障害のある人との支援員はアナログの世界かもしれない。

あえて、制度の実行者にお願いするとなると、支援員が余裕を持って臨めるよう人員配置を増やし、かねてから指摘されている低賃金を少しでも改善してほしい。そして、私達には何ができるのか？

利用者の方々と一緒になって、街中やバス、地下鉄の中などで、障害のある人々の「生活の進み」を少しでも市民の方々に知ってもらいたい。



ふらっぶの職員に聞きました

【あなたのテーマソングは何ですか？】

音楽・カラオケが好きな利用者さんが多いですね。好きな歌、リズムに乗りやすい歌、何気なく聞いて、口ずさんでしまっている曲など、人それぞれですね。

今回、普段から職員はどんな曲を聴いているのか、またどんな曲に励まされているのか聞いてみました。



テーマソングといわれてもどれがいいのかとやや困るのですが、一つ上げるとすればいきものがかりの『ありがとう』という曲をよく聞きます。

みなさんもお存じかと思いますがNHKの朝のドラマ『ゲゲゲの女房』の主題歌に使われていた曲です。

歌詞の内容は長年連れ添った夫婦を主においた歌となっていますが、普段の何気ない生活の中での感謝の気持ちを大切にすることというのを思い来させてくれる歌だと思っています。

私はなかなか素直な性格でないので素直に「ありがとう」と恥ずかしくて言えないですが、感謝するという気持ちは忘れないようにと思いなおさせてくれる歌で大好きです。

武野 靖之

私の好きな曲はk i r o r o (キロロ)の「未来へ」です。この曲は、母への感謝とともに自分らしくゆっくりと未来へ、前に進んでいこうという歌です。ふとした時に耳にすると焦らず自分らしくゆっくり進んでいけばいい、と思えて安心する曲です。同じくキロロの「ベストフレンド」も思い入れのある歌なので迷うくらいでした。キロロの歌ほとんどが好きです！またお会いした時にでも、皆さんにとってのテーマソング聞かせてくださいね！

元木 友里恵



私のテーマソングは斎藤和義さんの「歩いて帰ろう」です。小学生の時、ボンキッキーズという番組で使われていて毎朝耳にしていました。大人になり再度聴き直すと懐かしさをすごく感じたのを覚えています。忙しさの中で立ち止まって考えることを教えてくれる曲です。ふらっぶまではバイク通勤なので、この曲を聴くと歩きたい気分になります。遅刻するといけないので辞めておきます(笑)

濃邊 豊

私のテーマソングは「オー・シャンゼリゼ」です。原曲はフランス語ですが、日本でも色々な方が歌われているので皆さんもお存じかと思います。シャンゼリゼはフランスのパリにある大通りの名前です。「パリで最も美しい通り」と言われています。この曲を聴きながら「最も美しい通りとはどんな場所だろうか？」と想像すると、普段見慣れた街並みがいっしょには違って見えるような、何だかワクワクするような気持ちになります。

松田 健次

今回のテーマを受け、自分にとって落ち着く曲は何だろうと考えました。何曲か浮かびましたが、母が購入したスピッツのCDを小さい頃から日常的に聴いており、集中したいときや落ち込んだときに今でもよく聴いているのでスピッツを挙げたいと思います。

『空も飛べるはず』、『ロビンソン』等々・・・支援でカラオケへご一緒した際に歌っている方もいるほど、とても有名で聴き心地の良い曲ばかりですよね。きっとこれからも色々な場面でこのCDを聴くと思います。(調べてみたら1999年に発売したベストアルバムでした。おすすめです！)

長畑 有紀



私のテーマソングは、Mr.Childrenの「終わりなき旅」です。サビの「閉ざされたドアの向こうに・・・」という歌詞は、どんな時、聞いても励まされ、どんなことにも前向きに考えさせられる素敵な歌です。

この歌のように、落ち込んでいても、立ち上がれなくても、いつかは乗り越えて、プラスに変わる自分を探す旅をしていきたいですね。

私31歳。まだまだ終わらない旅を楽しく笑って歩んでいきたいですね。

また、発売されている「光の射す方へ」へ繋がっています。こちらも素敵な歌です。

千葉 聖



私のテーマソングは槇原敬之の「どんなときも」です。

子どもの頃、お出かけの時にはよく車の中で流れていた曲で、家族で海水浴に向かうまでのワクワクを思い出します。その時は何気なく聴いていた歌ですが、大人になってから聴くとこんな歌詞だったんだなあ・・・とまた違った印象を受けました。自分が自分らしくあるために“好きなものは好き”と言えますか？自分に自信も持って生きていけたら素敵ですよ！どんなときも～どんなときも～

内海 栄子

幼い頃からクラシックからロックまでノンジャンルでいろんな音楽を少しずつ聞いて育ったおかげで「テーマソング」と言われるとかなり悩みます。

テーマソングとは言えませんが、この夏は「海の声」にはまっていました。『ラブソングやん！』と突っ込まれそうですが、ラブソングって恋愛している人だけの曲ではない気がします。「君」や「あなた」が家族でも友達でも成り立つなあ、と。全部が全部そうではありませんが、そう思って聞くと違う曲にも感じられるな、と思うと音楽の聴き方の幅って広がると思いませんか？♪

柳原 明花

今年度、社会福祉法人なづな学園の『FACEBOOK』を新たに開設いたしました。なづな学園、かしの木学園、さらさらの活動状況や販売会などをFACEBOOK内でもお知らせしていきますので、よろしく願います。FACEBOOK内の検索から、「社会福祉法人なづな学園」を検索してください。是非ご覧ください。

FACEBOOK開設

漢字ミュージアム

NEW OPEN!

今年6月末、京都市・祇園に漢字ミュージアムが開館されました。日本初、小学生から大人まで楽しめる漢字の体験型ミュージアムです。漢字の面白さ・奥深さに触れ、日本の漢字文化を育て、発展・継承していくことを目指している施設です。

1階は、「見て、聞いて、触れる」をテーマに、漢字の歴史や毎年清水寺で発表される「今年の漢字」、漢字スタンプコーナーなど体験できるコーナーです。

皆さんも、ぜひ、ご自身の名前などをスタンプで作ってみては、どうでしょうか。

また2階は、「遊ぶ、楽しむ、学べる」をテーマに、筆順や部首など多数のゲームがあり、漢字の仕組みや特徴を学ぶことができるコーナーです。

またワークショップも開催されており、「漢字カルタの作成」や「拓本取り」があります。

「漢字カルタの作成」は、自分の知っている漢字を使って、オリジナルの手書き漢字カルタ20枚を完成させ、漢字の部首を読み札にして、読まれた部首の漢字をカルタで取るゲームです。

「拓本取り」は、昔の中国で生まれたコピーのことを拓本と言います。昔の人はどうやってコピーをとっていたのだろうか？石碑にはどのような文字が書かれているのだろうか？ワークショップでは、墨を使って瓦当（がとう／瓦の先端の円形部分）から文字や絵を紙に写し取ってみるなど土日祝に開催されています。

只今、イベント開催中です。『漢字縁日（かんじえんにち）』という、漢字を使って遊ぶ縁日を開催されています。期間は、9月30日（金）まで。お早めに訪れてください。

開館時間は9：30～17：00

休館日は、月曜日

入館料大人800円、中学・小学生300円、障害者無料（介助者1名免除）



アクセス

〒605-0074 京都府京都市東山区祇園町南側551番地（京都市元弥栄中学校跡地）

○京阪本線『祇園四条駅』6番出口から八坂神社方面へ徒歩5分

○阪急京都線『河原町駅』木屋町南出口から八坂神社方面へ徒歩8分

○地下鉄東西線『東山駅』2番出口から東大路通を南へ徒歩10分

○京都市バス『祇園』下車すぐ

編集後記

朝晩が冷えて、すっかり秋らしくなってきました。近頃、『ポケモンGO』というスマホゲームが流行っていますね。街中で、子どもだけでなく、大人まで熱中している姿をよく見ます。ポケモンは、私が小学生の時に発売され、当時は白黒のゲームボーイで、友達と遊んだものです。

近年のスマホの普及により非常に使い勝手よくなっています。SNSなどのコミュニケーションツールは多様化しており、法人なづなもFacebookを開設しました。全国、世界中から法人なづなを知りたい機会になればいいですね。これから更新を行っていきますので、よろしくお願ひします。

また、改めて思うことは、私たち、支援員は利用者との直接的なコミュニケーションが大事な基本姿勢であります。今一度、人と人の繋がりを大事にしたいですね。